

星のたより

2020年
10月号
Vol. 313

☆今月の一言☆
わりやすい星座といえ、さそり座やオリオン座だね。1等星があって、覚えやすい星の並びがポイントかな？ 秋の星座・みずがめ座は、星占いに出てくるし、名前は有名だけど見つけにくいよね。「みずがめ」は星座の中のほんの一部で、ほとんどは人の姿だよ。



新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

ご協力を
お願いします

さじアストロパークをご利用の際は、以下の項目にご理解の上ご利用いただきますよう、よろしくお願いいたします。開館状況などの最新の情報は、さじアストロパーク公式ホームページ等でご確認ください。

- ◎風邪症状のある方の利用は控えてください。
- ◎入館時、受付で体温の測定をさせていただきます。37.5℃以上の方は、ご利用をお断りすることがありますのでご了承ください。
- ◎館内展示の見学は、お客様同士の間隔を十分に開けて、密集状態とならないよう配慮してください。
- ◎利用者の皆様は、必要に応じマスクの着用や備付の消毒液の手洗いにより、感染拡大防止に努めてください。

渡部潤一氏講演会「彗星の魅力」開催

記念観察会も開催

鳥取県出身で世界的な新天体発見者だった本田実さんが亡くなられて、30年となりました。国立天文台副台長・渡部潤一氏をお迎えし、本田実氏の功績や彗星の魅力についてお話をさせていただきます。渡部氏は、流星、彗星など太陽系天体の研究の傍ら、最新の天文学の成果を講演、執筆などを通して易しく伝えるなど、幅広く活躍されています。以前、鳥取県東部に来訪され、本田実さんの足跡も調査されました。

記念講演会：10月31日(土) 15:00～16:30 定員40名(要予約)

記念観察会：10月31日(土) 20:00～21:30 園地で小型望遠鏡を使って実施。定員40名(要予約)

※103cm大型望遠鏡での天体観察会(佐治天文台4階観測室)は、別途予約が必要です。

※新型コロナウイルスの感染状況により、延期となる場合がありますのでご了承ください。

イベント★耳より情報

★新型コロナウイルスの影響で変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「ハッブル望遠鏡が見た宇宙」12月11日(金)まで

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」12月13日(日)まで



☆天体観察会☆ ☆10月のテーマとおすすめ情報

はくちょう座の二重星アルビレオ	2(金)・3(土)
準大接近した火星を観察しよう	6(火)～10(土)
満天の星とこと座のドーナツ星雲	16(金)・17(土)
見納めの木星・土星	23(金)・24(土)
まだまだ見ごろの火星	30(金)・31(土)
観察会で満天の星が楽しめる	6(火)～11(日)、13(火)～18(日)
観察会で月がよく見える	21(水)～25(日)、27(火)～30(金)

☆10月 休館日 5(月)、12(月)、19(月)、20(火)、26(月)

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。



ハッブル宇宙望遠鏡 (NASA)



プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員15名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員による生解説、後半は、オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」を投影しています。

テーマ番組・オリジナル番組「ハッブルが見た宇宙」9月16日から投影中

ハッブル宇宙望遠鏡が打ち上げられて、2020年で30年となりました。プラネタリウム番組でハッブル宇宙望遠鏡の30年の歴史を振り返りながら、これまでの成果や美しい宇宙の姿をご紹介します。音楽は障がいがありながらも音楽活動をされている、鳥取県出身のサウンドクリエイター「Yuta Itani（井谷優太）<https://www.yutaitani.com/>」さんが完全オリジナルで制作されました。

2. 103cm大型望遠鏡で天体観察会

定員15名、要予約で実施中

103cm大型望遠鏡を使った「天体観察会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を15名 ②事前予約 ③マスク着用④緊急連絡先の提出 でおこないますので、ご了承ください。個人の方（お一人からご予約できます）は予約日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。

10月の注目天体情報

☆テレビ観望システム

「3密」軽減と観察会の魅力アップのため、テレビ観望システムを整備中です。今後、観察会での待ち時間での説明やインターネットでの配信などで活用予定です。



☆見ごろの星座

見ごろの星座は「やぎ座」と「みずがめ座」です。どちらも明るい星が少なく、見つけにくい星座です。土星の左側の何となく逆三角形っぽい星の並びがやぎ座です。

みずがめ座はとても大きな星座ですが、やぎ座よりもさらに星の並びに特徴がありません。「秋の四辺形」と秋の星空ただ一つの1等星・フォーマルハウトから、大まかな場所を確かめましょう。



☆準大接近した火星が見ごろ。木星、土星は見納め(10月中旬まで、20時の観察会のみ)

地球のすぐ外側の惑星が火星、さらにその外側に木星、土星があります。火星は最接近後もしばらく見頃が続きます。接近しているときに模様を見るチャンスですので、103cm大型望遠鏡で観察してみましょう。木星、土星は低くなってそろそろ見納めです。10月中旬までの20時の観察会でしか見られません。

☆2020年最小の満月

10月31日(土)に見られる満月は、10月2度目、そして2020年最小の満月です。この日は本田実氏没後30年の記念観察会をおこないますので、望遠鏡で観察してみましょう。



火星が準大接近②

～ 火星を見よう ～

今月号では、火星の見つけ方、見え方などを紹介します。実際の星空で探してみましょう。

火星の見つけ方

21時ころ、東の空を見てください。赤くて明るい星を見ることが出来ます。秋は明るい目立った星がないので、すぐ見つけることが出来ます。明るさがマイナス2等級、ということでかなり明るく輝いています。しかも赤い色をしているので、非常に目立っています。10月は18時過ぎには昇ってきますので、早い時間から見る事が出来ます。

望遠鏡で見ると・・・

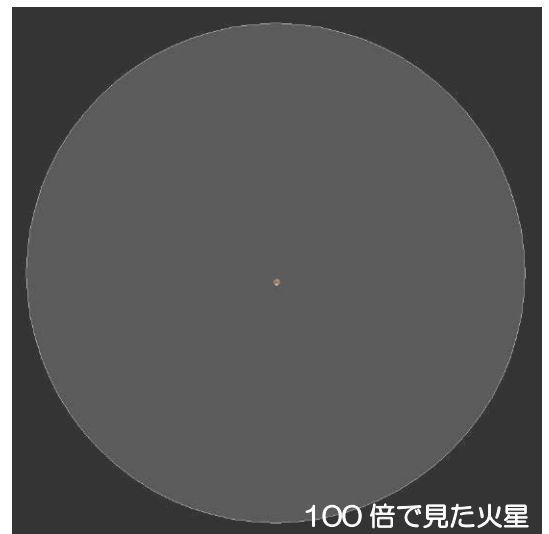
火星は10月6日に地球に最接近します。その後、だんだんと遠ざかっていきますが、11月ころまでは大きな火星を見るチャンスです。ただ、最接近したからといって、ものすごく大きく見える訳ではありません。というのも、火星の大きさが地球の半分くらいしかないからです。とはいっても、普通に比べれば火星の表面を見るいい機会です。家庭用の望遠鏡では、最高倍率が100倍くらいです。その倍率で火星を見ると、右のようにとっても小さくしか見えません。さじアストロパークにある103cmの大型望遠鏡では、いつもはおよそ180倍で天体観察会をおこなっています。大きな反射望遠鏡になると空気のゆらぎが関係してきます。もし、上空の空気がおだやかな状態であれば、高倍率で火星が見えるかもしれません。この時、表面の黒い模様を見ることが出来ます(前回の接近では、砂嵐の影響により、黒い模様は見づらくなっていました)。北極や南極にある極冠と呼ばれる白い部分(これはドライアイスで出来ています)は、今回は小さくて見づらいかもしれません。次回条件が良いのは2033年です。それまではあまり条件はよくありませんので、この機会にぜひ見てください。

火星探査 ～ 今火星があついで？ ～

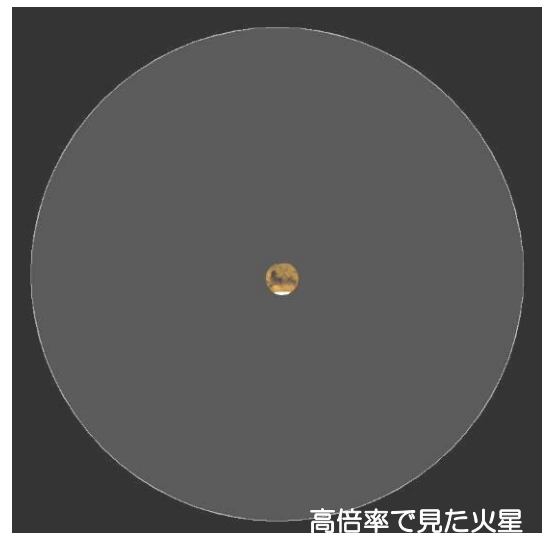
今年は火星に向けて探査機が次々と打ち上げられました。アメリカは生命の痕跡を発見するための探査機「パーセヴェランス」、UAE(アラブ首長国連合)は大気を観測する周回機「HOPE」を日本のH2Aロケットで、中国は「天問1号」を打ち上げました。今年打ち上げ予定だった欧州とロシアの火星探査機は2年後の打ち上げになりました。現在、探査機「キュリオシティ」が探査を続け、最新の画像などを送ってきています。人を火星に送る計画もあり、今火星が注目されています。新しい探査機は2021年に到着する予定で、これまでになかった情報をもたらすかもしれませんね。



前回の最接近の頃の火星
砂嵐の影響で模様ははっきり見られなかった



100倍で見た火星



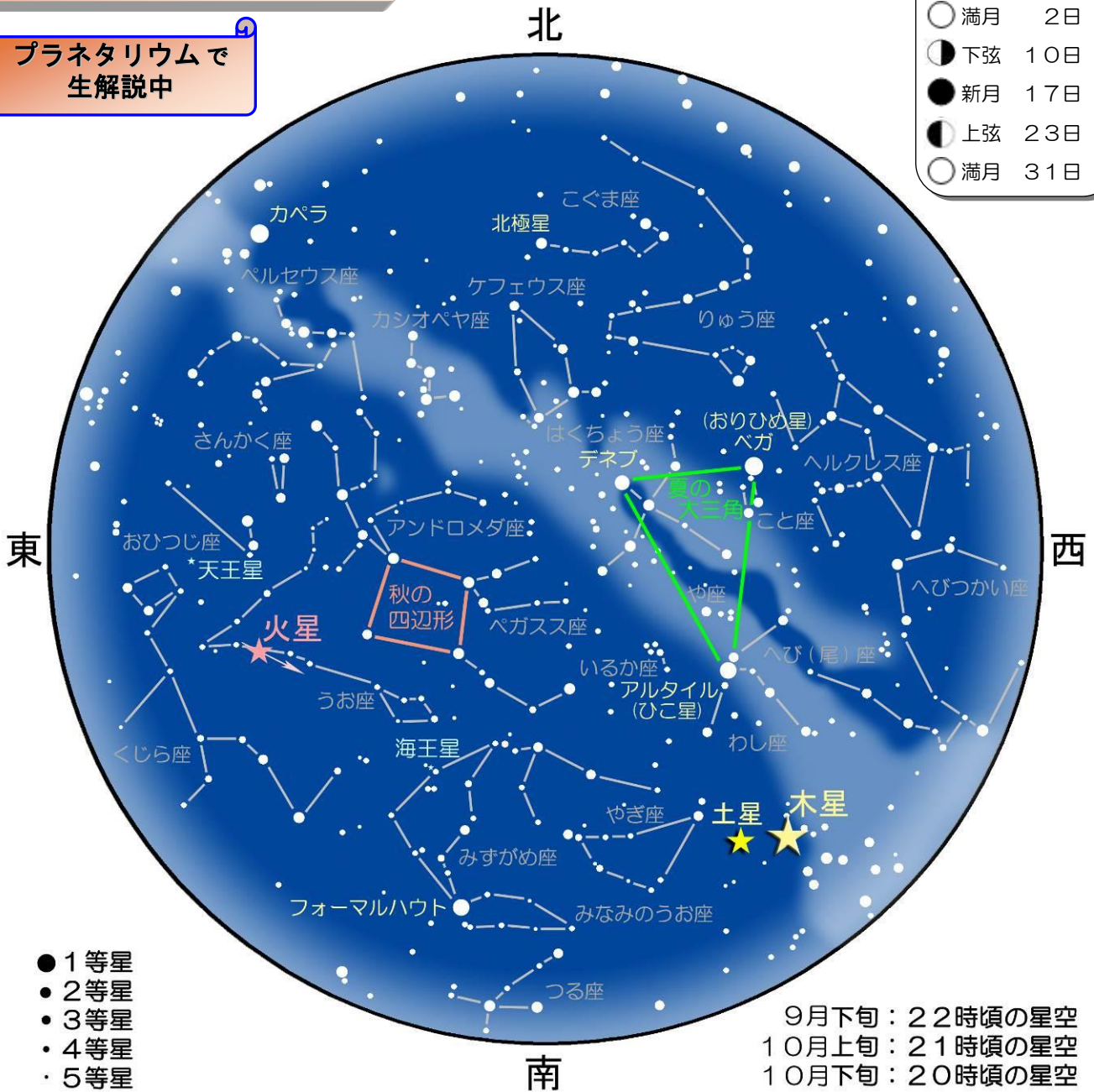
高倍率で見た火星

2020年10月の星空

10月の月の暦

- 満月 2日
- ◐ 下弦 10日
- 新月 17日
- ◑ 上弦 23日
- 満月 31日

プラネタリウムで
生解説中



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 5等星

9月下旬：22時頃の星空
10月上旬：21時頃の星空
10月下旬：20時頃の星空

☆10月になると日没がかなり早くなり、夜も寒さを感じるようになります。少し暖かいぐらいの服装で星空を楽しみましょう。

☆太陽系の惑星が一度に楽しめます。まず、南西の木星と土星。ずいぶん低くなりましたので早めに見ておきましょう。東の空にはちょうど地球に接近中の火星。赤くて明るい星ですから、よく目立ちます。天王星、海王星も観察しやすい場所にありますが、残念ながら肉眼では見ることはできません。双眼鏡や小型望遠鏡を使うと見ることはできますが、望遠鏡を使っても模様までは見えませんので、星座の星と見分けるのは難しいかもしれません。

☆10月も、天の川がオススメです。月明かりのない夜に夏の大三角を目印に探してみましょう。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

<http://blog.zige.jp/saji-astro/>

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp